

# 出向く宮農レポート

～品質向上を目指して～



中部宮農センター 伊藤和成

朝夕と日中の寒暖差を感じる5月初旬、安田洋子さんの圃場にお邪魔しました。

安田さんは1年ほど前から園芸センターにリーフレタスなどを出荷していただいております。今は学校給食出荷にも力を入れてキャベツの栽培をされています。今回はそのキャベツの生育状況を確認させていただきました。

キャベツの外葉を見ると白いかさぶたのようなキズや虫に食べられた跡が見られました。キズはアザミウマの食害の可能性が高く、虫喰いは近くでアオムシを発見しました。

以前使用した農薬を訊ねると、アザミウマにも作用するグレーシア乳剤を2週間程前に散布されていました。同じ農薬を使用し続けると害虫もその農薬に対して抵抗性をもってしまいますので、今回は違う系統の農薬である、マラソン乳剤や、モスピラン顆粒水溶剤の使用を提案しました。どちらもアザミウマ類、アオムシに効果があります。

複数の農薬をローテーションで使用すれば、害虫が農薬に抵抗性をもってしまふのを遅らせることができ、効果的です。

また、マラソン乳剤やモスピラン顆粒水溶剤は使用できる野菜の種類の登録が多く、1つもっていると非常に便利です。

同じ場所でキャベツを連作しないことも対策として有効です。同じ場所で野菜を育て続けるとその作物に悪さをする、害虫や病原菌がその土壌に集まってしまいます。今後の栽培・出荷のためにも、次期の栽培では区画をずらすか別の圃場を利用させていただくなどをお話しました。

より良い栽培・生育のお力になれるよう、これからも継続的に訪問します。

※モスピラン顆粒水溶剤は毒劇物ですので、購入時にご印鑑と身分証明できるもの(免許証など)が必要となります。



## キャベツの食害対策について

### マラソン乳剤

- 希釈倍数：1,000倍
- 使用量：100～300L/10a
- 使用時期：5回以内



### モスピラン顆粒水溶剤

- 希釈倍数：1,000～2,000倍
- 使用量：100～300L/10a
- 使用時期：6回以内(但し、粒剤の定植時での処理は1回以内、散布及び定植後の散布は合計5回以内)

